

しまねいきいきねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)



松江事務局
松江朝日町 478-18
松江テルサ 3F
tel : 0852-28-0690
e-mail : shimane@teiju.or.jp

石見事務所
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田 2F
石見産業支援センター「いわみぷらっと」内
tel : 0855-25-1600
e-mail : iwami@teiju.or.jp

NPOのための
CANPAN

ブログ作成セミナー

がんばっている私たちの
活動を広く知ってもらおう!

大田

島根中央地域職業訓練センター (先着 16名)

10月12日 (水) 13:30~16:30

松江

松江市民活動センター (先着 12名)

10月18日 (火) 13:30~16:30

参加費 無料

松江会場♪託児あり

一人一台、パソコンを使って
一緒にブログを開設。
ブログ活用テクニックも伝授!
ブログって何?というあなたも
セミナーが終わるころには
立派なCANPAN(カンパン)ブロガー!

対象: 市民活動に関心のある方で、まだブログを作ったことがない方

講師: ふるさと島根定住財団 森山 忍

共催: 松江市民活動センター(松江会場)

申込: 10月6日(木)までに地域活動支援課 内田まで

FAX: 0852-28-0692 または

E-mail: shimane@teiju.or.jp

人数限定
お早めに

*CANPAN ブログって何?

全国の市民活動の日々の活動の様子や思いが書き込まれたブログコミュニティ。日本財団が運営する公益コミュニティサイトなので、安心感があります。余計な広告表示のないブログで、団体情報を公開したり、容易に活動の報告ができ、さらには寄付を募ることもできます。あなたも参加して情報発信!

■ 昨年セミナー参加者の声

ブログは初めてでしたがとても面白かったです。個人で慣れて団体の情報発信にも参考にしたいと思います。



まさか、自分のブログがもてるなんて感激です。

助成金&イベント情報



募集情報



イベント情報



助成情報



日本教育公務員弘済会 教育文化振興助成金

~10/28

- 締切日: 10月28日(金) 必着
- 助成対象: ①教育研究、または活動団体(学校含む)
②1年以上の活動実績がある団体(法人格は問わない)
- 対象活動: ①教育団体研究(教育の振興に寄与する団体の有益な研究または活動)②子どもの国際交流活動
- 助成金額: ①1団体につき上限100万円②1団体につき10~50万円

問合せ: 財団法人 日本教育公務員弘済会

E-mail: ko-eki@nikkyoko.or.jp



セブン-イレブン みどりの基金

~11/30

- 締切日: 11月30日(水) 当日消印有効
 - ◆地球温暖化対策助成◆
 - 助成対象: 活動分野「環境の保全」で認証されたNPO法人
 - 対象活動: 森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動、林産物の活用を創出する活動
 - 助成金額: 1団体あたり上限150万円
 - ◆活動助成◆
 - 助成対象: NPO法人または任意の環境市民団体
 - 対象活動: ①自然環境の保護・保全②野生動植物種の保護・保全③体験型環境学習活動④環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動⑤植花活動
 - 助成金額: 上限なし、総額5,000万円
 - ◆自立事業助成◆
 - 助成対象: 「環境の保全」を活動分野として認証され、かつ3年以上の活動実績があるNPO法人
 - 対象活動: ①~⑤(活動助成の対象活動と同じ)
 - 助成金額: 1団体あたり上限440万円
 - ◆広域連携促進助成◆
 - 助成対象: NPO法人が代表となり、複数の団体が構成されているプロジェクトチーム
 - 対象活動: ①~⑤(活動助成の対象活動と同じ)
 - 助成金額: 1プロジェクトあたり上限200万円
- 問合せ: 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
TEL: 03-6238-3872



損保ジャパン環境財団 環境保全プロジェクト

~10/31

- 締切日: 10月31日(月) 当日消印有効
 - 助成対象: NPO法人もしくは任意団体(活動実績2年以上)
 - 対象活動: 「自然保護」「環境教育」「リサイクル」等の分野で、実践的活動を行う継続性、発展性をもつ公益貢献に繋がるプロジェクト
 - 助成金額: 1プロジェクトにつき上限30万円
- 問合せ: 公益財団法人 損保ジャパン環境財団
TEL: 03-3349-4614 E-mail: office@sjef.org



平成24年度 TSK 地域伝統芸能振興助成

~10/31

- 締切日: 10月31日(月) 必着
 - 助成対象: 島根・鳥取に活動の本拠を有する無形民俗文化財の保存団体
 - 対象活動: 地域伝統芸能に関する「行事等実施」「保存・継承」「修復」事業、その他地域伝統芸能に寄与する事業
 - 助成金額: 1事業につき上限30万円
- 問合せ: 山陰中央テレビ「伝統芸能助成事務局」
TEL: 0852-23-3434



まげに節電2011 キャンペーン

~9/30

- キャンペーンチャレンジャー募集!!
- 締切日: 9月30日(金)
 - 内容: ①身近な節電のアイデアや街中で見つけた節電をレポート②節電にチャレンジし、8月分と9月分の電力使用量減少をチェック
 - 応募資格: 島根県内在住の方
- 問合せ: しまね自然と環境財団 TEL: 0852-32-5260



「山の宝でもう一杯」 プロジェクト特別研修

10/1~

- あなたの山の宝「伐木・造材・搬出」講座
- 【第1回】10月1日(土)~2日(日) 10時~15時
 - 【第2回】10月8日(土)~9日(日) 10時~16時
 - 【第3回】10月22日(土)~23日(日) 10時~16時
- 会場: 津和野町内林地
○参加費: 無料
- 問合せ: 津和野町役場農林課担当: 桑原・村上
TEL: 0856-72-0653



今、あらためて考える 地域の「ちから」と「絆」

10/22

- 日時: 10月22日(土) 13:30~16:30
 - 会場: 松江市市民活動センター(5階交流ホール)
 - 費用: 入場無料 ※託児有り(無料)
 - 内容: ■基調講演 「新しい公共」が目指すもの
講師: 早瀬昇さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)
■パネルディスカッション 松江の「ちから」と「絆」
- 問合せ: 松江市市民活動センター事務局
TEL: 0852-32-0891

島根 で頑張る人

100年後も「村」で… 地域の声を拾い上げる

2011年清流日本一に返り咲いた高津川と、深緑の山々に囲まれた吉賀町柿木村。その中の廃校に少し手を加えただけの、穏やかな空間にエコビレッジかきのきむら事務所がある。

法人設立のきっかけが起きたのは2005年。柿木村・六日市町の町村合併である。これまでやってきた地域ならではの夏祭りや鮎釣り大会などが続けていけるのか、地元を離れてしまった人にとって地元を思い出すものがなくなってしまうのか。井川さんは地域の人の様々な不安を耳にしていた。

そこで地域のつながりをなくさぬよう、当時観光協会代表だった井川さんはNPO法人エコビレッジかきのきむらを設立。大切な「かきのきむら」という地名を法人名に含め、柿木村の人や自



オーガニックカフェ・アヤ

然体験のプロデュースをはじめた。

ある人から長く栽培してきている柿木村の有機食材を用いた料理を食べられる場所が出来ないだろうか、という提案を受ける。その意見を取り入れ、つくったのがオーガニックカフェ。そこにはオーガニックという新しい試みに興味を持った人たちが多く訪れるようになった。また、田舎ならではの自然環境で行う「山の学校」、「川の学校」は、子どもたちに山間部の生活体験を提供している。薪集めや食事を作る経験などを通して、子どもたちは生きる力を身につける。県外から参加した人の中には、その姿や柿木村の雰囲気に触れることで定住希望者が出てきた。

「村民それぞれが出来る範囲で参加してくれるんですよ」と井川さん。皆が柿木村のあるがままの価値を見出して活動している。ひとりの意見を拾い上げて皆で関わりながら運営していく。エコビレッジかきのきむらの強みだ。

今は若い人の力も欲しいと、イベントや夏祭りの参加から声をかけ始めている。参加を通して興味を持ち、スタッフとして一緒に運営に携わってくれる人も徐々に増えてきている。先を見据えた活動の背景には「100年後も住み続けられる『むら』でありたい」という願いがある。

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの“学び”も兼ねて取材させていただいています。



エコビレッジかきのきむら 理事長 井川 保さん

大阪で10年働いた後、地元柿木村へUターン。観光協会代表の経験を通じ、平成17年の柿木村と六日市町の町村合併の際、地域の生き残りのためにNPO法人エコビレッジかきのきむらを設立。自営の傍ら、理事長を務める。

今までの主な活動 エコビレッジ

かきのきむら

平成17年法人設立。柿木村のもつ山、川、自然の良さを生かし、田舎暮らし体験ツアーや里山フィールドスクールを実施。同時に、旧中学校を改修した事務所では近隣市町の人が創作活動を発表できる展示室や地元の有機野菜を使ったオーガニックカフェなどの場を提供している。

しまね田舎ツーリズム 第4回・第5回県内研修会

学校(廃校)の活用による田舎ツーリズム・交流を考える



日時 10月22日(土)14:00~17:30 **日程** 14:20 ■事例報告・意見交換
受入 「匹見下ふるさとを興す会」 * 県内実践者「さぶみ牧童探検隊」「人間交流センター」
会場 旧・澄川小学校 校舎 「匹見下ふるさとを興す会」
 (益田市匹見町澄川イ327) 16:00 ■交流会
会費 交流会 1,500円(子供 500円) 農家民泊体験料(希望者)6,000円 * 天然アユの塩焼き体験・秋祭り料理

しまね田舎ツーリズムに
関心のある方ならどなたでも

『里の秋』赤トンボと歩く田舎の風景

日時 10月29日(土)13:00~17:00 **日程** 13:15 ■「ふるさと阿井を語る」
受入 骨董カフェ「米屋」 15:00 ■骨董カフェ特別講座
会場 阿井公民館 「骨董珍品お宝(?)大会」
 (奥出雲町阿井188-1) 16:00 ■交流会 * 秋の里山の味覚を味わう
会費 交流会 1,000円(子供 500円) 「骨董カフェ米屋」(藤原さん宅)宿泊体験料(希望者)5,000円

申込 (公財)ふるさと島根定住財団
 石見事務所(担当:河野)
 TEL: 0855-25-1600
 FAX: 0855-25-1630

* 詳しくは「しまね田舎ツーリズム」に関する島根県のサイトまたは当財団のサイトへ

県民いきいき活動支援事業

地域課題解決や地域活性化に向けた公共性・公益性の高い活動を一層充実させるとともに、県民の総力を結集した地域づくりにつながる活動を支援します。

社会貢献活動支援(単年型事業)

- 対象活動：公共性・公益性の高い活動で、収益性を伴う事業の組み立てが困難であり、団体の立ち上がり期の活動や新規の活動
- 対象者：県内の非営利任意団体（5名以上）、NPO法人
- 助成額：15～40万円
- 助成期間：1年以内
- 助成率：対象経費の2/3以内

■申込締切■

社会貢献活動支援

11月18日(金) 必着

地域活性化支援(ステップ・ジャンプ)

12月13日(火) 必着

さらに詳しい説明会も行います！ ↓

平成23年度第2回助成制度合同説明会
～これから申請できる助成制度とミニセミナー～

【大田】10月4日(火)10:30～15:00

【隠岐】10月11日(火)10:00～14:30

【松江】10月13日(木)10:30～15:00

地域活性化支援事業(ステップアップ)

- 対象活動：地域活性化に繋がる事業・活動で、収益を伴いながら事業の効果と継続性がともに見込まれる活動のうち、団体の立ち上がり期や新規の事業
- 対象者：県内民間団体・グループ（5名以上）
- 助成額：40～100万円
- 助成期間：1年以内
- 助成率：対象経費の2/3以内

地域活性化支援事業(ジャンプアップ)

- 対象活動：地域活性化に繋がる事業・活動で、収益を伴いながら事業の効果と継続性が見込まれる活動のうち、拡大や本格稼働を目指す活動
- 対象者：県内の民間団体・グループ（10名以上）、商業法人、NPO法人等
- 助成額：100～300万円
- 助成期間：2年以内
- 助成率：対象経費の2/3以内

【問合せ】

ふるさと島根定住財団 地域活動支援課

TEL：0852-28-0690

次号
予告



協働環境醸成講座

～解決すべき課題から協働のあり方を考える2日間～

◆11/21(月)、22(火)

◆講師：**川北 秀人**氏(IIHOE代表)

詳しくは
次号 Vol43 にて!!

制作スタッフ日記

次から次に起こる自然災害に、なすすべもなく見守るしかないことが多い日々ですが、先日、子どもと一緒に「あいと地球と競売人」という島根発ミュージカルを観に行ってきました。夏休み中、たくさんの稽古をしてきた子ども達が、精一杯踊って歌うのを見て、とても胸に熱いものがこみあげてきました。子どもたちのパワーを感じ、人にはまだ何かできるということ、まだ間に合うこと(地球環境についても、地域おこしについても)そんなことを思い起こさせてもらいました。そして、NPO活動にとって情報発信は、活動への共感を得るために必要なこと。想いを伝える手段として、セミナーと一緒にPCを操作しながらブログを作成してみませんか？



内田 麻紀



柏木 ゆり子

9月、10月は定住財団に限らずいろいろなイベントや講座がありますね。先日「市民活動フェスタ2011」が行われ、私も初めてお邪魔しました。時間がなく全部を回ることはできませんでしたが、多くのNPO法人や団体の方々の活動を拝見し、パワーを分けてもらったような気がしました。こうした出会いは楽しく、同時に勉強になると思っています。また、講座などでお会い出来るのも励みです。

今月末にはISO26000講演会があります。一見難しそうですが、この規格には主体的な判断力が求められているとのこと。新しい公共の姿勢を形作るヒントになると思いますので、この機会にぜひご参加ください。

